



～バンダイこどもアンケートレポート Vol.15

「お子様が好きなテレビ番組は何ですか？」

幼児バラエティ番組にも好みの差が

この調査は雑誌誌上で当社が行っている、アンケート付きプレゼント企画への回答をまとめたものです。保護者を対象にしたこどもに関する設問で、月1回の調査を行っています。質問内容は玩具に限定することなく、広い視野からこどもたちの生活に密着した生の声をまとめ、現代のこどもたちの実態をバンダイ流に解きあかしていこうと考えています。

【調査概要】

調査方法：雑誌広告でのアンケート付プレゼント企画によりハガキで募集

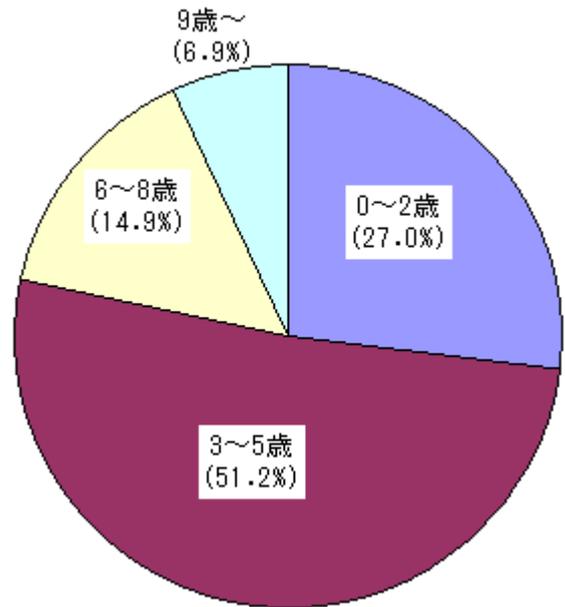
実施時期：1996年6月

質問内容：お子様が好きなテレビ番組は何ですか？

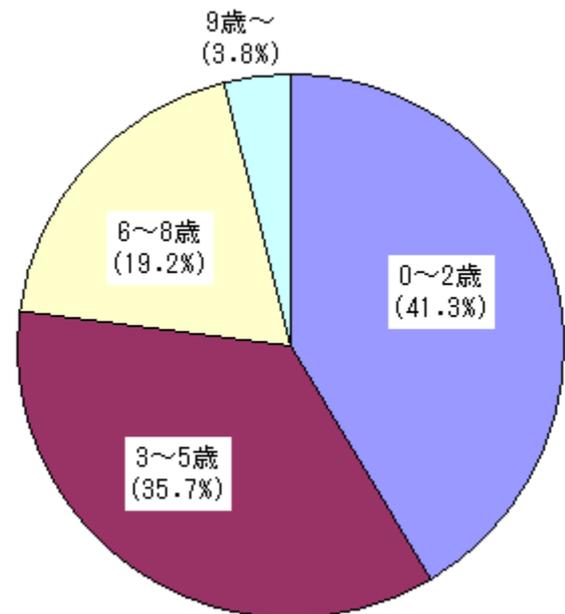
有効回答数：461人

男女総計 461人

★男 児★		
年齢内訳	0～2歳	67人
	3～5歳	127人
	6～8歳	37人
	9歳～	17人
	計	248人



★女 児★		
年齢内訳	0～2歳	88人
	3～5歳	76人
	6～8歳	41人
	9歳～	8人
	計	213人



男女総合ランキング結果

★男児（248人/445件）

1	激走戦隊カーレンジャー	32.3%
2	ドラえもん	18.1%
3	ビーファイターカブト	17.7%
4	ポンキッキーズ	10.5%
5	ドラゴンボールGT	10.1%
6	それいけ！アンパンマン	9.7%
7	クレヨンしんちゃん	9.3%
8	おかあさんといっしょ	7.3%
9	ゲゲゲの鬼太郎	4.8%
10	名探偵コナン	4.0%
11	ダグオン	3.2%
12	忍たま乱太郎 激走兄弟 Let' s & Go	2.8%
13	マジカル頭脳パワー バケツでごはん	2.4%

☆女児（213人/374件）

1	美少女戦士セーラームーン セーラースターズ	27.7%
2	おかあさんといっしょ	25.8%
3	ドラえもん	15.0%
4	それいけ！アンパンマン	9.9%
5	ポンキッキーズ	8.5%
6	怪盗 세인트テール	6.6%
7	サザエさん	5.6%
8	英語であそぼ	5.2%
9	ちびまるこちゃん	4.7%
10	クレヨンしんちゃん	4.2%
11	忍たま乱太郎	3.8%
12	ゲゲゲの鬼太郎	3.3%
13	名探偵コナン 木曜の怪談 バケツでごはん	2.8%

※パーセントは件数÷人数でその番組を好きなこどもの割合

<アンケート結果より>

★アニメ、特撮強し！

男女ともアニメーションや実写特撮番組が上位のほとんどを占める結果となった。今回の調査で1位となった男児の「激走戦隊カーレンジャー」、女児の「美少女戦士セーラームーン セーラースターズ」は「バンダイこどもアンケートレポート Vol.13 好きなキャラクターは何ですか？」(1996年5月発行)でもそれぞれ1位となっており、テレビがこども達に与える影響の強さがうかがえる。またこのランキングが実際の視聴率と必ずしも一致していないのは、こどもたちが見ている複数の番組の中から特に好きなものをあげてもらったためと考えられる。

★幼児バラエティ番組と教育娯楽番組にも好みの差

アニメーション、実写特撮番組のほかに上位に名前があがったのが「おかあさんといっしょ」や「ポンキッキーズ」、「英語であそぼ」などの幼児向けバラエティ番組や教育娯楽番組。これらは0~2歳の子供たちに高い人気となっており、男児が「カーレンジャー」と「おかあさんといっしょ」が同率で1位。一方女児は「おかあさんといっしょ」が58.8%と圧倒的に一位、次いでポンキッキーズが15.9%で2位となっている。結果をみる限りでは男児より女児に幼児バラエティ、教育娯楽番組の人気が高く、しかも男児は「ポンキッキーズ」女児は「おかあさんといっしょ」の人気が高いというように、男女で好みの差があらわれている。

★年齢とともに変わる「好きな番組」

年齢とともに好きな番組も大人っぽくなり、クイズ番組やドラマ、スポーツ中継などの名前が登場している。アニメーションや実写特撮番組も年齢があがるとともに男児では「ドラゴンボールGT」などの割合が高くなっている。そんな中「ドラえもん」は幅広い年齢に人気があり、総合ランキングでも上位に入っている。

<年齢別集計結果>

※複数回答含む

おとこの子

★0～2歳（116件中／67人）

1	激走戦隊カーレンジャー	14.7%
	ポンキッキーズ	14.7%
3	ドラえもん	12.1%
	おかあさんといっしょ	12.1%
5	それいけ！アンパンマン	11.2%
6	英語であそぼ	3.4%
	ビーファイターカブト	3.4%

★3～5歳（238件中／127人）

1	激走戦隊カーレンジャー	25.6%
2	ビーファイターカブト	14.7%
3	ドラえもん	8.8%
4	クレヨンしんちゃん	6.7%
5	それいけ！アンパンマン	4.6%
6	ゲゲゲの鬼太郎	4.2%
7	ポンキッキーズ	3.8%
8	ダグオン	3.4%

★6～8歳（67件中／37人）

1	ドラゴンボールGT	16.4%
2	ドラえもん	14.9%
3	ビーファイターカブト	7.5%
4	爆走兄弟レッツ&ゴー	6.0%
	クレヨンしんちゃん	6.0%
6	名探偵コナン	4.5%

★9～11歳（24件中／17人）

1	ドラゴンボールGT	25.0%
2	ドラえもん	12.5%

おんなの子

☆0～2歳（142件中／88人）

1	おかあさんといっしょ	35.2%
2	ポンキッキーズ	9.9%
	ドラえもん	9.9%
4	それいけ！アンパンマン	9.2%
5	英語であそぼ	5.6%
6	クレヨンしんちゃん	4.9%

☆3～5歳（136件中／76人）

1	美少女戦士セーラームーン セーラースターズ	27.2%
2	怪盗 세인트テール	7.4%
	ドラえもん	7.4%
4	それいけ！アンパンマン	5.1%
5	サザエさん	4.4%
6	ちびまる子ちゃん	3.7%
	ゲゲゲの鬼太郎	3.7%
	激走戦隊カーレンジャー	3.7%

☆6～8歳（85件中／41人）

1	美少女戦士セーラームーン セーラースターズ	17.6%
2	ドラえもん	9.4%
3	マジカル頭脳パワー	5.9%
4	バケツでごはん	5.9%
	忍たま乱太郎	5.9%
	クレヨンしんちゃん	5.9%

☆9～11歳（11件中／8人）

1	美少女戦士セーラームーン セーラースターズ	36.4%
---	--------------------------	-------

※ このアンケートレポートに関して「子ども調査研究所・渡部 尚美」さんから以下のコメントをいただいております。

心理学では、赤ちゃんの頃は自他の区別が意識されず、おっぱいを飲む、眠るという数少ないけれど根元的な欲求をほぼ全面的に満たされている時期とされています。したがって、赤ちゃん自身は自分を全能の存在としてとらえています。成長とともに次第に欲求の全てが必ずしも満たされないことがあることを知る中で、母親という他者を発見し、同時に自分が全能の存在でないことを認識していきます。子どもたちが好むものは、そうした全能の時期に「帰る」か「取り戻す」意味のいずれかを担っています。「おかあさんといっしょ」「ドラえもん」「それいけ！アンパンマン」等のおだやかで仲良しの世界観の番組を見ることで、母子一体であった時期に帰ることを疑似的に体験し、「激走戦隊カーレンジャー」「ビーファイターカブト」「美少女戦士セーラームーン セーラースターズ」「ドラゴンボールGT」などの、強くてカッコいいヒーローやヒロインになりきった気持ちになることで、全能の力を取り戻した気持ちになるのです。

低年齢の方が「帰る」気持ちを満たしてくれる番組を好み、成長とともに「取り戻す」番組を好きになっていく変化がデータにあらわれています。また、一般的に男の子の方がナンセンスな感覚を好むことが、0～2歳児男子の「ポンキッキーズ」志向にあらわれています。